

初めての自動車運転再開支援 ～富山県の作業療法士に向けて～

はじめに

富山県の1世帯当たりの自動車保有台数は全国的に見ても多く、自動車の運転は生活を支える手段として必須といっても過言ではありません。

一般社団法人富山県作業療法士会 運転と作業療法委員会は、2018年2月に発足し、活動を開始しています。当委員会では、県内自動車運転再開支援の実態を把握するため、県内の作業療法士(以下、OT)に対しアンケート調査(2018～2019年)を実施してきました。その結果、運転再開支援の対象疾患は脳血管疾患が多いこと、各医療機関・施設によって実施している評価内容や流れが異なることがわかりました。また、運転再開支援に関する知識や情報の不足によって対応に苦慮した経験を持つOTや、運転再開支援に携わった経験が少ない・全くないOTが数多くいることを把握できました。

このパンフレットは、富山県内のOTが運転再開支援を行う際に、富山県の実情に即した説明および情報提供をすぐに行えることを目的に作成しました。運転再開支援に関わる際に少しでも手助けになれば幸いです。

運転再開支援を始めるにあたり・・・

OTが運転再開支援が必要な対象者を担当する

運転再開支援の経験値が少ない・全くないOT

OTがまず知っておくことを簡単に確認する
本パンフレット(P4～12)

運転再開支援の基礎的事項を知り、知識を得る

<紹介>

- パンフレット「押さえておきたい！運転再開支援の基礎」
(日本作業療法士協会ホームページよりダウンロード可能)
- 著書「作業療法とドライブマネジメント」(編者:藤田佳男・澤田辰徳, 2018)
- 著書「脳卒中・脳外傷者の自動車運転に関する指導指針」
(編集:公益社団法人 日本リハビリテーション医学会, 2021)
- 一般社団法人 日本高次脳機能障害学会ホームページ etc...

運転再開支援を各所属先で既に行っているOT

富山県の運転再開支援に関する実状や情報を知る
本パンフレット(P13～21)



目次

1. 運転再開支援を行う上で、まず知っておくべきこと	
1)「自動車運転」という作業とは？	P4
2)自動車運転に必要な能力とは？	P5
3)運転再開支援に関わる各機関の役割とは？	P6
4)運転再開支援の流れについて ～診断書を作成する医療機関を中心に～	P7
5)運転再開支援における評価について	P8
6)道路交通法	
(1)「普通免許の適性検査基準」について	P9
(2)「一定の病気等に係る免許の可否等の運用基準」について	P10
(3)認知症と診断された場合の運転免許について	P11
(4)免許更新時の申告義務について	P11
(5)免許取り消しと免許失効に関する対応について	P12
2. 富山県内の6病院の運転再開支援の実情	P13
3. 富山県の実車評価について	
1)富山県の自動車教習所	P15
2)「病院-教習所間連携シート(脳損傷者用)」の紹介	P16
4. 富山県の運転免許センター(富山県運転教育センター)について	P17
5. 車両の改造について	
1)運転補助操作器具について	P18
2)県内ではどこで相談できるか？助成金等はあるのか？	P19
6. 運転再開が困難になった方に対して提供できる情報	
1)運転免許証の返納について	P20
2)代替手段について	P21

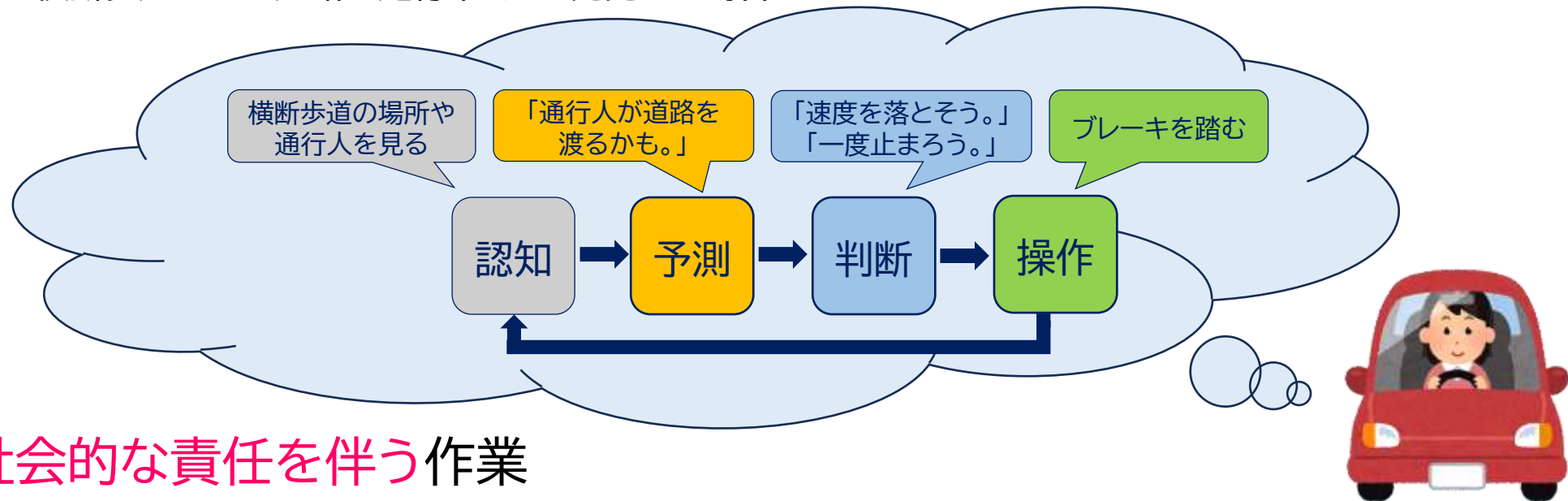
1. 運転再開支援を行う上で、まず知っておくべきこと

1)「自動車運転」という作業とは？

- 生活に大きな影響を与える**手段的日常生活動作**(IADL)
- 交通状況を把握し、適切な能力を発揮するために、認知・予測・判断・操作を複合的に繰り返している**難易度の高い作業**

<運動行動の例>

横断歩道のある道路を走行中、人を発見した場合…



- 社会的な責任を伴う作業**

【出典】藤田ら.作業療法とドライブマネジメント.文光堂, p4,13, 94,2018

日本リハビリテーション医学会.脳卒中・脳外傷者の自動車運転に関する指導指針,新興医学出版社,p2,24,35,2021

日本作業療法士協会 運転と作業療法委員会.パンフレット「押さえておきたい！運転再開支援の基礎」p2

2) 自動車運転に必要な能力とは？

視機能・聴覚機能	視力、視野、色彩識別能力、眼球運動、聴力 等
身体機能	座位バランス・座位耐久性、筋力、関節可動域、感覚、動作の協調性やスピード、移乗・移動能力 等
高次脳機能	注意機能(選択性・配分性・転換性・持続性、視覚探索、情報処理速度、反応時間)、視空間認知機能、遂行機能、記憶機能、言語機能、病識、感情コントロール 等

視機能・聴覚機能、身体機能の基準は、普通免許の適性検査基準(P9)を参照してください。



運転能力を評価するためには、全身状態が安定していることが前提となります。

特に脳卒中は急性期では症状が進行する場合があります。また、再発予防のために高血圧や糖尿病などの併存疾患の適切な管理が求められます。

意識レベルや病状、合併症、服薬状況も確認しましょう。

3) 運転再開支援に関わる各機関の役割とは？

運転免許センター・ 都道府県公安委員会	運転免許の可否を判定する(適性相談、臨時適性検査)。
医療機関	疾病や障害に関する評価を行い診断書を作成する。 運転に関する適切な指導や助言、訓練を行う。
自動車教習所	地域の交通安全教育センターとしての役割があり、パーパードライバー講習等を行う(実車評価)。



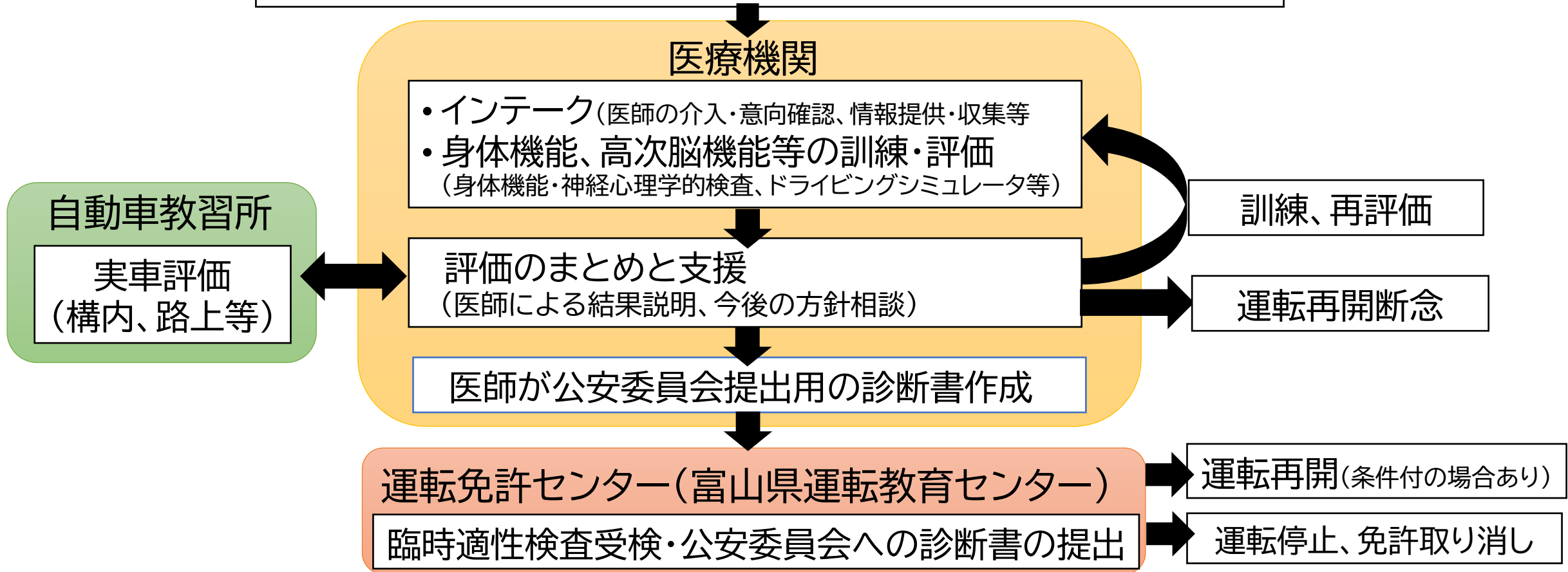
それぞれの役割について対象者に説明しましょう。

自動車教習所は、道路交通法上、障害者の運転に関する役割が明記されておらず、連携の際は注意が必要です(P15)。

【出典】日本作業療法士協会 運転と作業療法委員会.パンフレット「押さえておきたい！運転再開支援の基礎」p5
藤田佳男;自動車教習所と医療機関の連携. 蜂須賀研二(編). 高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーション2, p69-73, 金芳堂, 2015
藤田ら.作業療法とドライブマネジメント.文光堂,p130, 2018

4) 運転再開支援の流れについて ~診断書を作成する医療機関を中心に~

本人や家族からの運転再開希望または診断書作成希望があった



各所属先で既に運転再開支援の流れがある場合は、それに従いましょう。
医師の処方が出た対象者には各所属先の支援の流れについて丁寧に説明し同意を得て支援を開始しましょう。

【出典】日本作業療法士協会 運転と作業療法委員会、パンフレット「押さえておきたい！運転再開支援の基礎」p3
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター、パンフレット「自動車運転の再開を希望されるあなたへ」

富山県作業療法士会 運転と作業療法委員会研修会 富山県運転免許センター「富山県における一定の病気を理由とした免許の行政処分について」2019

5) 運転再開支援における評価について



< 評価の重要な視点 >

- 各々の**対象者に合わせた評価**を行きましょう。
- 単一の検査だけでの判断は避け、**複数の検査**を組み合わせ**て包括的に**捉えましょう。

現在、運転に関する統一された評価項目はなく、可否判断の明確な基準は設けられていません。

理由は、各対象者によって疾患等、身体機能、高次脳機能に加え、年齢・運転経験年数・性格・運転目的・車種・運転環境などが異なり、それらの要素も考慮して、自動車運転再開を検討する必要があるためです。

ただ、疾患および高次脳機能障害に対応した先行研究は数多く報告されており、参考にできます。

【出典】日本作業療法士協会 運転と作業療法委員会.パンフレット「押さえておきたい！運転再開支援の基礎」p10-11,17

藤田ら.作業療法とドライブマネジメント.文光堂,p26-27,57-69,2018

日本リハビリテーション医学会.脳卒中・脳外傷者の自動車運転に関する指導指針,新興医学出版社,p65-66,42-55,90-107,2021

6) 道路交通法

(1) 「普通免許の適性検査基準」について

大型、中型、けん引、第二種免許の適性検査基準は異なります。

視力	<ul style="list-style-type: none">両眼で0.7以上、かつ一眼でそれぞれ0.3以上であること。一眼で0.3に満たない者、もしくは一眼が見えない者については、他眼の視野が左右150度以上で、視力が0.7以上であること。
色彩識別能力	<ul style="list-style-type: none">赤色、青色、黄色の識別ができること。
聴力	<ul style="list-style-type: none">両耳の聴力が10mの距離で90dBの警音器の音が聞こえること。上記の聴力は無いが、後写鏡を用いて後方から進行して来る自動車を確認できること。
運動能力	<ul style="list-style-type: none">四肢の機能が全廃ではなく、腰をかけている状態が持続できること。自動車の安全な運転に必要な認知または操作能力があること(補助手段を用いてもよい)。

(道路交通法施行規則23条より抜粋)

(2)「一定の病気等に係る免許の可否等の運用基準」について



一定の病気等に罹っている者は、その症状が自動車等の安全な運転に支障を及ぼすおそれがあるか否かで、**個別で判断**します。

<一定の病気等とは？>

- 統合失調症
- てんかん
- 再発性の失神
- 無自覚性の低血糖症
- そううつ病
- 重度の眠気の特徴を呈する睡眠障害
- その他精神障害(急性一過性精神病性障害、持続性妄想性障害等)
- 脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、一過性虚血発作等)
- 認知症(→P11へ)
- アルコール中毒者

各病気の詳細は、道路交通法施行令第33条の2の3を参照してください。
認知症とアルコール中毒者は、道路交通法90条および同法103条第1項を参照してください。

(3) 認知症と診断された場合の運転免許について

- アルツハイマー型認知症、血管性認知症、前頭側頭型認知症(ピック病)、レビー小体型認知症
- 上記以外の認知症
(甲状腺機能低下症、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫、正常圧水頭症、頭部外傷後等)

拒否または取り消し

- ① 「回復の見込みがない」又は「6か月以内に回復する見込みがない」と診断⇒拒否または取り消し
- ② 「6か月以内に回復する見込みがある」と診断⇒その期間の保留または停止

(道路交通法第90条,第103条)

(4) 免許更新時の申告義務について

運転免許の新規取得や更新時に、一定の病気等の症状に関する質問票に回答することが義務化されている。



質問票に虚偽の回答をすると罰則(1年以下の懲役または30万円以下の罰金)が科されます。罰則についての説明もしておくことが大切です。

(道路交通法第89条、第117条)

(5)免許取り消しと免許失効に関する対応について



運転再開を目指す場合、どちらの場合も診断書の提出を求められると考えられます。

対象者の状況によるため、主治医に相談の上で、ご自身で免許センターに連絡し確認することを勧めましょう。

参考までに…

<一定の病気に該当すること等を理由に免許を取り消されたが症状が改善し3年以内に免許を再取得する場合>

- 学科試験と技能試験が免除される
- 適性試験がある
- 直近に提出した質問票で虚偽の記載をした場合は対象外

<病気等でやむを得ず免許の有効期限が過ぎた失効で3年以内の場合>

- 学科試験と技能試験は免除される
- 適性試験がある
- やむを得ない理由がなくなった1カ月以内に手続きが必要

【出典】富山県警察本部交通部運転免許センター.“運転適性相談について”. 富山県警察 <

<https://police.pref.toyama.jp/6117/untentmenkyo/kj00005619.html>> (2023年8月11日閲覧)

富山県警察本部交通部運転免許センター.“運転免許証の有効期限切れ失効受験手続きについて”. 富山県警察 <

<https://police.pref.toyama.jp/6117/untentmenkyo/menkyoshou/kj00005207.html>> (2023年8月11日閲覧)

2. 富山県内の6病院の運転再開支援の実情

(令和5年9月時点)

県内には下記の6病院以外にも、運転再開支援に取り組み、教習所と連携している病院はあります(厚生連高岡病院等)。ご質問等は一般社団法人富山県作業療法士会ホームページの「事務局・お問い合わせ」よりお願いします。

<金沢医科大学氷見市民病院>

神経心理学的検査等	MMSE、コース立方体組み合わせテスト、Rey複雑図形模写、TMT、CAT視覚性抹消課題、SDSA(脳卒中ドライバーのスクリーニング評価)必要に応じて、BIT、FAB、三宅式記銘力検査
ドライブシミュレータ機器の種類	Honda セーフティナビ
実車評価の有無(OT同乗の有無)	有(場合によって有)

<南砺市民病院>

神経心理学的検査等	TMT、BADs 動物園地図、BIT、FAB、SDSA
ドライブシミュレータ機器の種類	無し
実車評価の有無(OT同乗の有無)	有(有) ※現状はコロナウイルス感染拡大のため同乗していない

<済生会高岡病院>

神経心理学的検査等	MMSE、TMT、Reyの複雑図形模写、コース立方体組み合わせテスト必要に応じてその他の検査
ドライブシミュレータ機器の種類	Hondaセーフティナビ
実車評価の有無(OT同乗の有無)	有(無)

<富山県リハビリテーション病院・こども支援センター>

神経心理学的検査等	MMSE、TMT-J、Reyの複雑図形模写、CAT視覚性抹消課題・PASAT、SDSA 必要に応じてFAB、BIT、コース立方体組み合わせテスト、VFITなど
ドライブシミュレータ機器の種類	簡易自動車運転シミュレーター(SiDS) ドライブシミュレーター(三菱プレジジョン社製 DS-2000R/7000R)
実車評価の有無(OT同乗の有無)	有(無)

<富山西リハビリテーション病院>

神経心理学的検査等	MMSE、TMT-J、Reyの複雑図形模写、SDSA 必要に応じてCAT、BIT、WAIS-Ⅲ
ドライブシミュレータ機器の種類	簡易自動車運転シミュレーター(SiDS) ドライブシミュレーター(三菱プレジジョン社製 DS-7000R)
実車評価の有無(OT同乗の有無)	有(有)

<アルペンリハビリテーション病院>

神経心理学的検査等	MMSE、コース立方体、TMT、PASAT、BIT、WAIS-Ⅲ符号、WMSR 図形の記憶、視覚性対連合、視覚性再生、視覚性記憶範囲
ドライブシミュレータ機器の種類	簡易自動車運転シミュレーター(SiDS)
実車評価の有無(OT同乗の有無)	有(有)

【略語】

MMSE:Mini Mental State Examination, TMT:Trail Making Test, CAT:Clinical Assessment for Attention, SDSA:Stroke Drivers' Screening Assessment, BIT:Behavioural inattention test, FAB:Frontal Assessment Battery, BADS:Behavioural Assessment of the Dysexecutive Syndrome, PASAT:Paced Auditory Serial Addition Test, VFIT:Visual Field with Inhibitory Tasks, WAIS-Ⅲ:Wechsler Adult Intelligence Scale-Third Edition, WMSR:Wechsler Memory Scale Revised

3. 富山県の実車評価について

1) 富山県の自動車教習所



<富山県指定自動車教習所>

小矢部自動車学校、北日本自動車学校、呉羽自動車学校、黒部自動車学校、高新自動車学校、高岡自動車学校、砺波自動車学校、富山県第一自動車学校、富山県中央自動車学校、富山自動車学校、富山中部自動車学校、滑川自動車学校、南砺自動車学校、入善自動車学校、氷見自動車学校、北陸自動車学校

<富山県特定自動車教習所>

運転研修センター



<注意点>

- 通常は医学的評価や神経心理学的評価にて運転に支障をきたす重大な障害がない場合に行われます。
- 教習所利用料金は、医療保険外で**実費負担**となります(料金は各教習所に確認してください)。
- 本人には、自動車教習所への**個人情報**の提供に了承してもらう必要があります。
- 自動車教習所は、**運転再開の可否判定を行う機関ではありません**。
- OTの同乗は、各医療機関や教習所の判断に従ってください。
- 実車評価の受け入れは、全ての自動車教習所でできるとは限りませんので、直接連絡して確認しましょう(ただし、次頁に記載がある自動車教習所での実車評価は行えます)。

2)「病院-教習所間連携シート(脳損傷者用)」の紹介

病院の評価結果と自動車教習所の評価結果の「見える化」を目的に、下記の自動車教習所と連携して作成した富山県独自のシートである。下記の自動車教習所での評価(実車評価含む)を依頼する際に使用できる。病院と教習所での評価の重複や不足をなくし、診断書を作成する医師に情報を提供することができる。

<病院-教習所間連携シート(脳損傷者用)の概要>

- 対象者 : 運転再開を希望する**脳損傷者**(脳卒中、頭部外傷等)
- 対象教習所: 学校法人富山自動車学園の6校
(**入善・黒部・滑川・富山・砺波・高岡自動車学校**)
- 入手方法 : 富山県作業療法士会のホームページ→SUB MENU「生活支援推進局」→「運転と作業療法委員会」よりダウンロードが可能。
ダウンロードには、Googleフォーム入力後に表示されるパスワードが必要。
- 使用方法 : 富山県作業療法士会ホームページに掲載されている**利用規約**を参照。

<ダウンロード用Googleフォーム>
<https://forms.gle/RGcrL218FyPrbzHR9>



利用規約を必ずお読みいただき、厳守をお願いします。

また、本シートをご使用いただく前に、各所属先で使用許可を得てください。

4. 富山県の運転免許センター(富山県運転教育センター)について

運転免許センターに設置された**安全運転相談窓口**にて、一定の病気がある方や運転に不安を覚える方、又はそのご家族等から、免許の取得や更新が可能かどうかについての相談を受け付けている。また、必要に応じて運転シミュレータを用いた**臨時適性検査**を実施している。

その他、運転免許センターによる一定の病気発覚・相談については次の①②の状況があります。

- ① 交通事故・違反・保護等・職務質問等で本人に安全な運転に支障を及ぼすおそれがある病気・身体障害・中毒等で道路交通法が定める一定の病気の疑いが生じた。
- ② または、本人が免許申請、免許更新時等に病気申告した。

<連絡先>

住所 : 〒931-8562 富山市高島62-1

電話 : 全国統一電話番号「#8080」

富山県警察本部交通部運転免許センター適性相談係直通 076-451-2140



脳卒中後、病気の発症や経過等についてご自身(あるいは家族)で正確に自主申告することは難しく、医療機関の診断書を持参し、相談、あるいは臨時適性検査を受検したいと伝えるとスムーズと考えられます。

日程や必要物品などご自身で運転免許センターに確認し、指示に従うように助言しましょう。

【出典】富山県警察本部交通部運転免許センター。“運転適性相談について”. 富山県警察 < <https://police.pref.toyama.jp/6117/untmenkyo/ki00005619.html> > (2023年8月11日閲覧)

富山県警察本部交通部運転免許センター。“別添 安全運転相談の概要”. 富山県警察 < <https://police.pref.toyama.jp/documents/603/01318248.pdf> > (2023年8月11日閲覧)

富山県作業療法士会 運転と作業療法委員会研修会 富山県運転免許センター「富山県における一定の病気を理由とした免許の行政処分について」2019

5. 車両の改造について

1) 運転補助操作器具について

運転補助装置(例)		対象者
<p>左足操作用アクセルペダル (左:吊り下げタイプ) (右:床置きタイプ)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 右片麻痺 右足でペダル操作が困難な方 	
<p>ハンドルノブ</p>  <p>ハンドル回転を片手で行いやすくする</p>	<p>ウィンカーレバー</p>  <p>左手操作用の延長ウィンカー</p>	<ul style="list-style-type: none"> 片麻痺 片手が不自由な方
<p>手動運転装置(写真はT型)</p>  <p>手動のアクセル・ブレーキ装置 アクセル:手前に引く ブレーキ:前方に押す</p> <p>ブレーキ ← → アクセル</p>	<ul style="list-style-type: none"> 脊髄損傷(対麻痺) 両足が不自由でペダル操作が困難な方 	

2) 県内ではどこで相談できるか？助成金等はあるのか？

<車両の改造についての相談先>

改造の相談は、改造車専門メーカー等で可能。改造車専門メーカーは富山県にも数店舗ある。また、各自動車メーカーのディーラーで相談できる場合もある。



<身体障害者用の自動車改造費の助成金等について>

就労等の社会参加を促進する目的で運転操作上必要な改造をする場合、改造費の一部を助成する制度がある。

(例) 富山市の場合

- 身体障害者用自動車改造費補助金交付申請
- 車いす対応車両等購入費補助金交付申請
- 身体障害者自動車操作訓練申請



原則として、**自動車改造前の申請**となります。各市町村によって助成内容や申請書が異なるため、各市町村の福祉課で相談することを勧めましょう。

運転免許の条件は運転免許センターが判定します。その前に改造を行ってしまうとトラブルにつながる可能性がありますので注意しましょう。

6. 運転再開が困難になった方に対して提供できる情報

1) 運転免許証の返納について

< 運転免許証の自主返納 >

本人の意思で運転免許証を返納する制度。返納すると自治体サービスを受けることができる。



自主返納は、運転免許証の**有効期間内**が対象です。

< 運転経歴証明書 >

運転免許証を自主返納した方は、「運転経歴証明書」を申請できる。

公的な本人確認書類(身分証明書)として利用が可能。

運転免許センター、高岡運転免許更新センター及び県内各警察署で手続きができる。



申請期間は**自主返納から5年以内**です。交付には手数料がかかります。

< 各自治体における免許証の自主返納支援事業 >

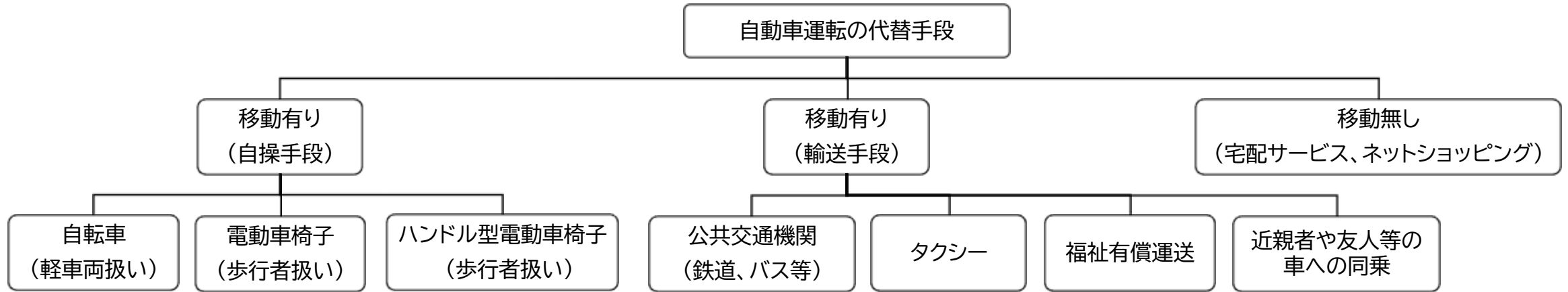
運転免許証を自主返納すると、バスやタクシーの乗車券など公共交通機関利用時の助成が交付される場合がある(各市町村や自治体により異なる)。

また、高齢者運転免許証自主返納サポート活動の協賛店では、商品や利用料等が割引きになる。

詳細は富山県警察ホームページ(<https://police.pref.toyama.jp/>)で確認できる。

2) 代替手段について

💡 運転を断念しても、できるだけ生活の質や幅が維持できるように考慮し、**代替移動手段の検討**や**地域のサービスを把握**しましょう。また、移動の補償を検討するだけでなく、ご本人の興味や関心をもとに、運転ができなくても可能な活動を共に検討しましょう。



< 電動車椅子、ハンドル型電動車椅子(シニアカー) >

- 両者とも道路交通法では歩行者扱い。
- 介護保険でレンタル可能。
(シニアカーは要介護2以上が対象)
- 電動車椅子は目的地内でも入場して利用できる「車いす」的。シニアカーは自宅から目的地前まで利用できる「スクーター」的。



電動車椅子



ハンドル型電動車椅子
(シニアカー)

利用者と利用目的に応じて選択しましょう。

< 福祉有償運送 >

- 福祉有償運送とは、障がい者や要介護者等を対象に、NPO等の非営利法人や市町村が実施している自家用自動車で行うドア・ツー・ドアの個別輸送サービス。
- 福祉車両を所有・使用している登録団体が多い。
- 利用にあたり申請書類等が必要。

各市町村役所や地域包括支援センター、行政サービスセンター、社会福祉協議会、ケアマネージャーに相談する等の助言を行きましょう。

おわりに

作業療法士は、自動車運転支援に関して重要な役割を担う職種の1つです。それゆえ、その支援について相応の知識・技術を持ち、対象者が運転を行う利益および不利益を医師や関連他職種と共に十分検討した上で、各々の対象者に合わせた評価・指導を行う必要があります。

このパンフレットを通して、富山県の作業療法士が、運転支援の進め方や考え方について理解し、日々の臨床の一助になれば幸いです。

2023年10月作成

一般社団法人 富山県作業療法士会 運転と作業療法委員会

本パンフレットに関するご質問等は、一般社団法人富山県作業療法士会のホームページの「事務局・お問い合わせ」よりお願いします。